

---

**オープンソース業務システム  
普及のための技術的アプローチ**

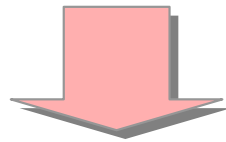
**2005/2/1**

(有)システム・キャスト  
三喜 英行

- 業務システムを再構築する際の問題
- 業務システムモデルの意義
- オープンソース活用の意義
- 普及への障害は？
- ドメインモデルと連動した普及
- 今後の検討テーマ

# 業務システムを再構築する際の問題

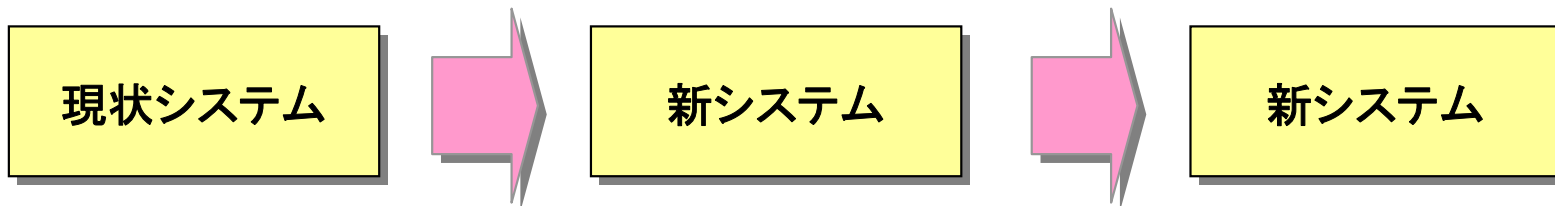
- ◆ 業務ニーズの進化や実装技術の進化は留まることはなく、再構築やエンハンスを余儀なくされるのはシステムの宿命
- ◆ スクラッチ&ビルドであれPKG導入であれ、業務ニーズ(基本ニーズ、改善ニーズ)との刷り合わせに最も多くの時間が必要とする
- ◆ システムを再構築・エンハンスする際に、それまでに蓄積された業務ノウハウや業務ロジックは活かされているか
- ◆ メンテナンスされていない「要件定義書」は役に立たない



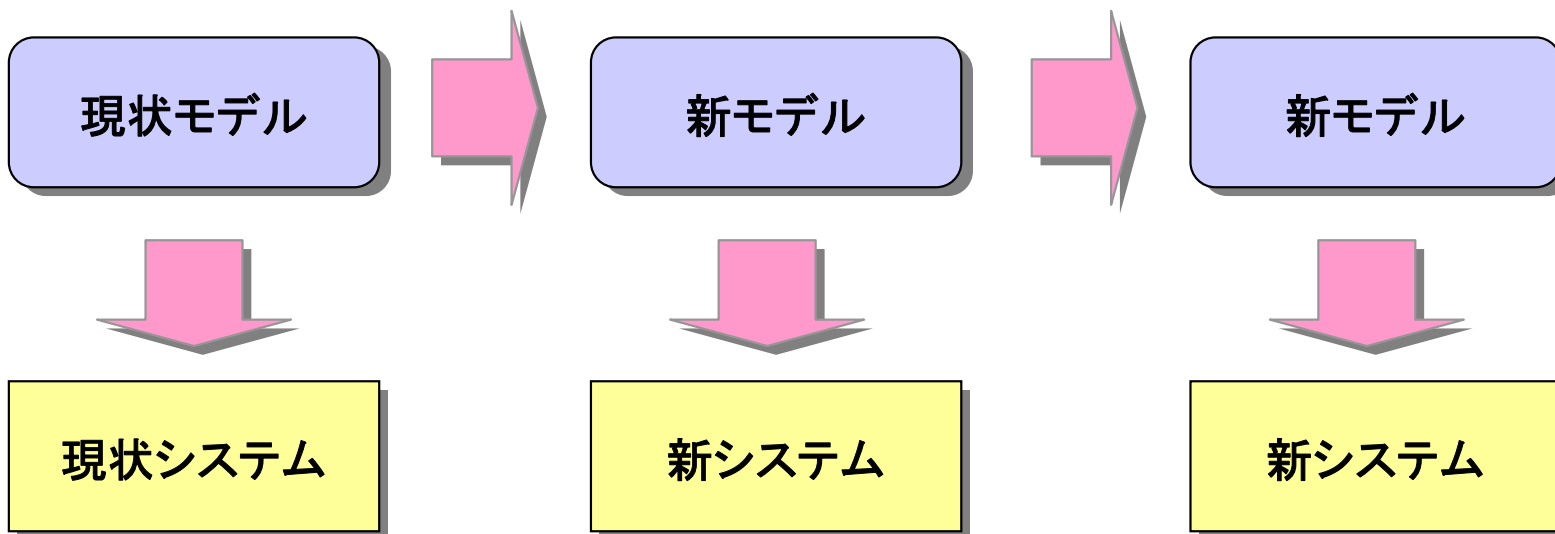
実装手段にとらわれずに業務システムを維持・発展させるためには「**普遍性の高いシステムの表現方法**」が必要

# システムの進化のあり方

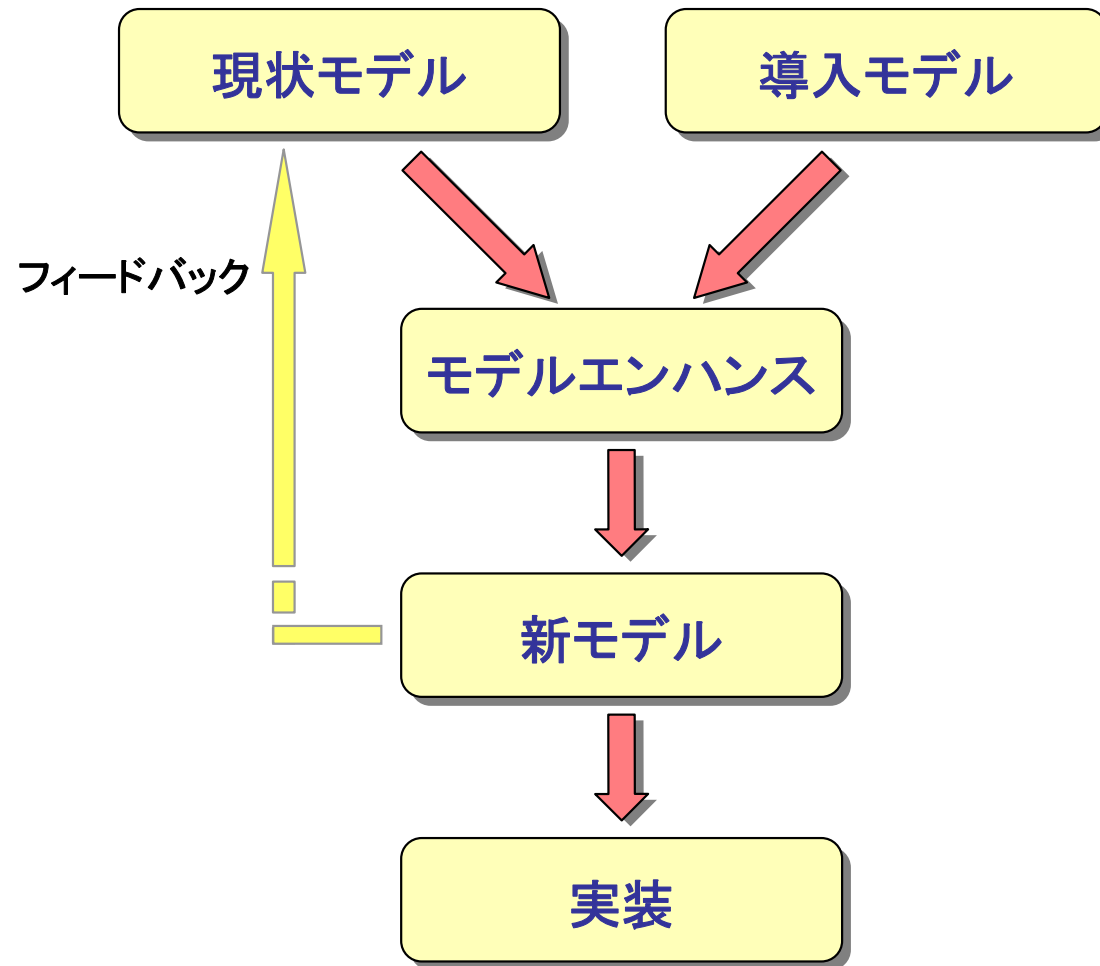
機能本位  
実装ベース



モデルベース

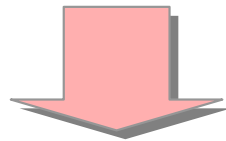


# モデルエンハンスの考え



# 業務システムモデルの意義

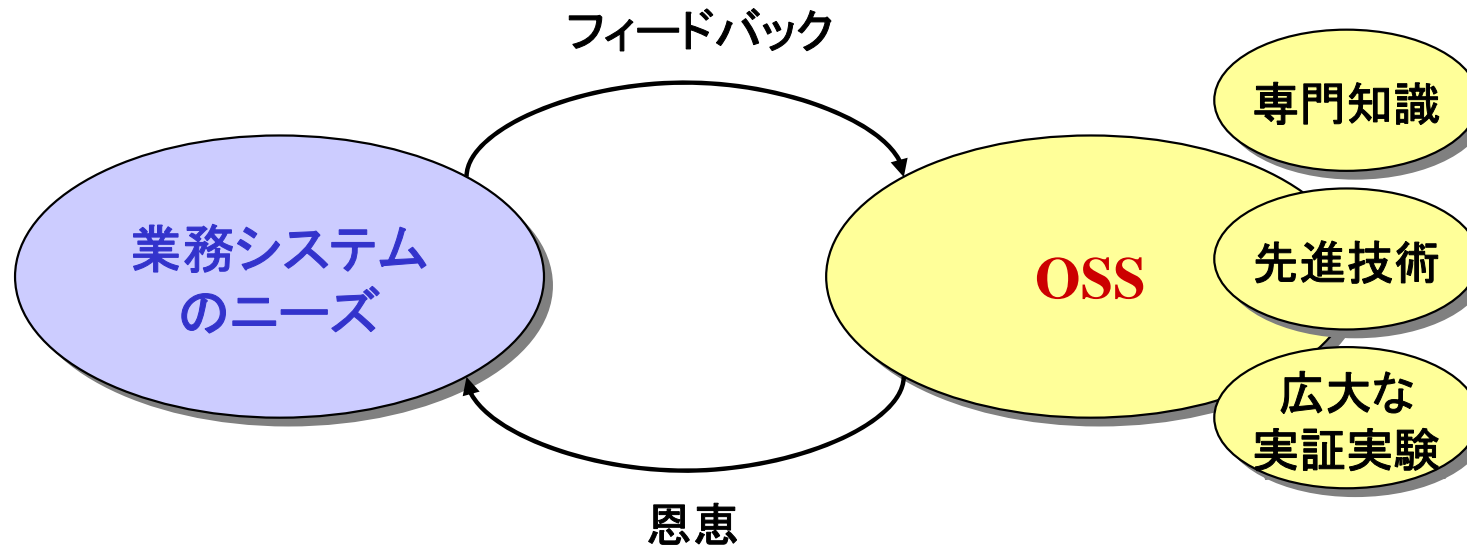
- ◆ ビジネスモデルとの整合性を持ったシステム構築
- ◆ 実装手段に影響されず、ITの進化に即応
- ◆ モデルベースでの改善は本質的な改善をもたらす
- ◆ 業務改革、新事業展開へスムーズなIT活用が可能



**業務システムモデルは企業資産！**

# オープンソース活用の意義

「世界の知恵」を活用する！



- 世界中で試行・精査され洗練される
- 自由度が高く、ニーズへの即応性に優れる
- 世界への貢献

# 普及への障害は？

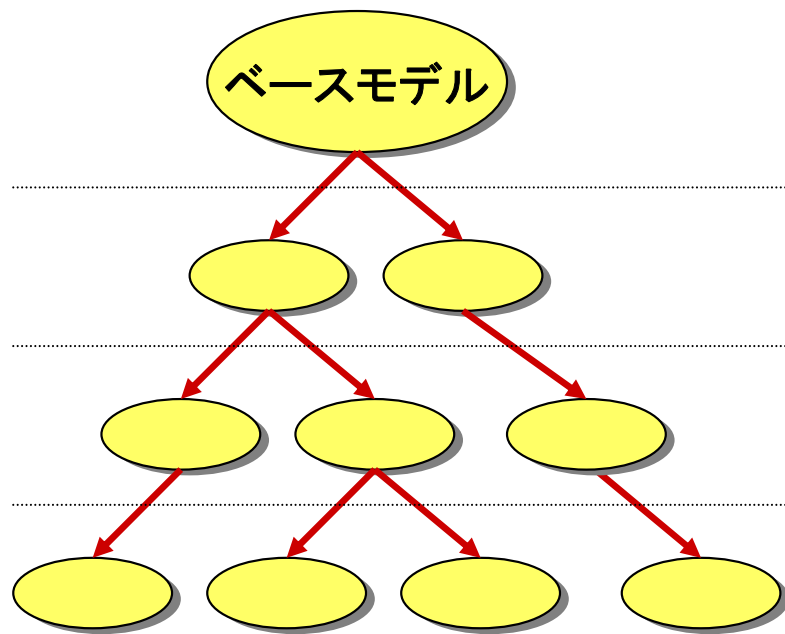
---

- ◆膨大なソースコードを把握できるか？
- ◆仕様の理解への不安
- ◆正しいカスタマイズ方法は？
- ◆そもそも業務システムの要件は多岐多様である  
ニーズに合ったものが簡単に見つかるとは思えない
- ◆品質への不安(堅牢性、完成度、性能...)
- ◆サポート(責任の所在)への不安

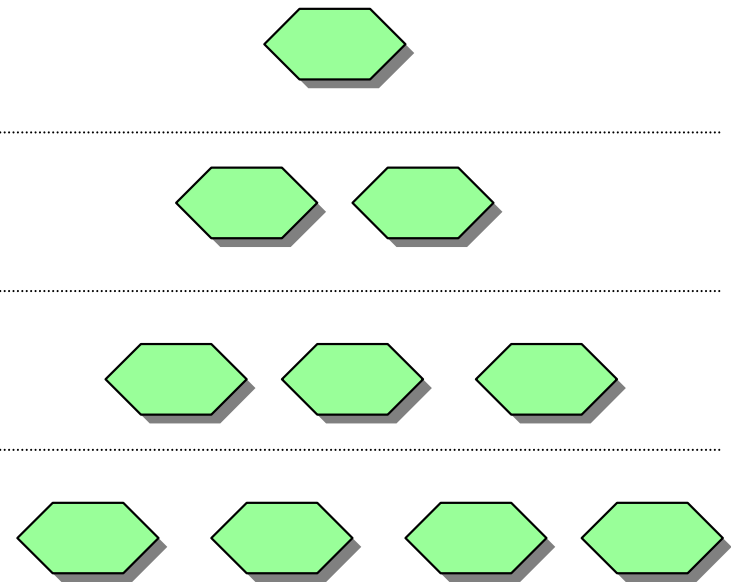


# ドメインモデルと連動した普及

- 各業務には誰もが認めるベースモデルがある
- すべての業務システムモデルはベースモデルをルートとした派生モデル
- モデルで適合性を検証する

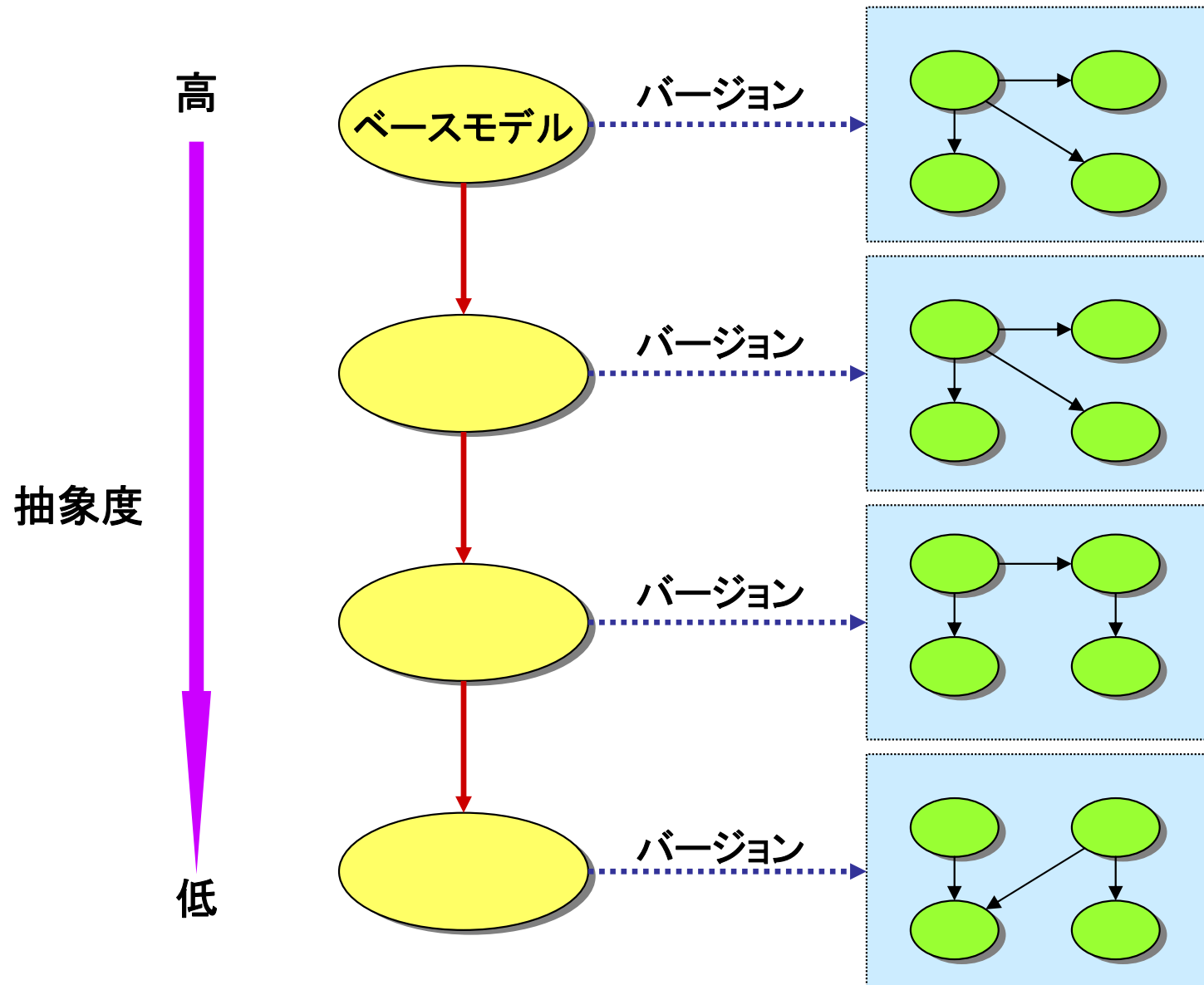


ドメインモデル群



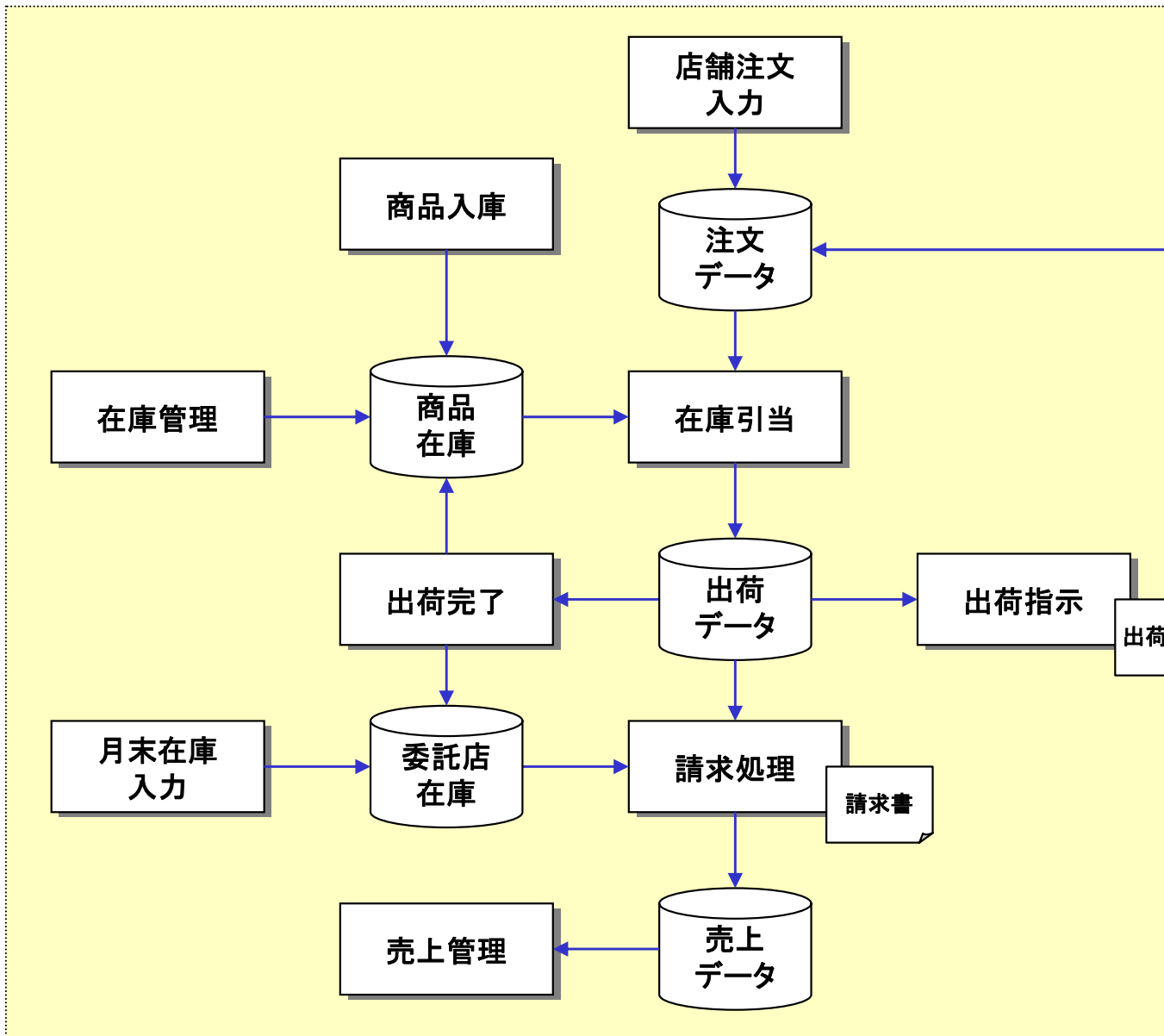
実装システム群

# 業務システムモデルの階層モデル

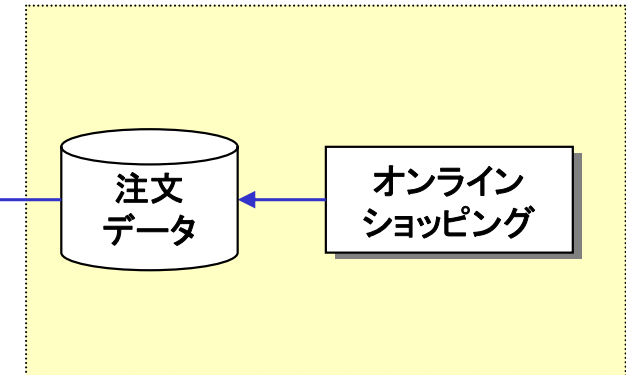


# 事例紹介 ~ プロセスモデル

## 販売在庫管理システム

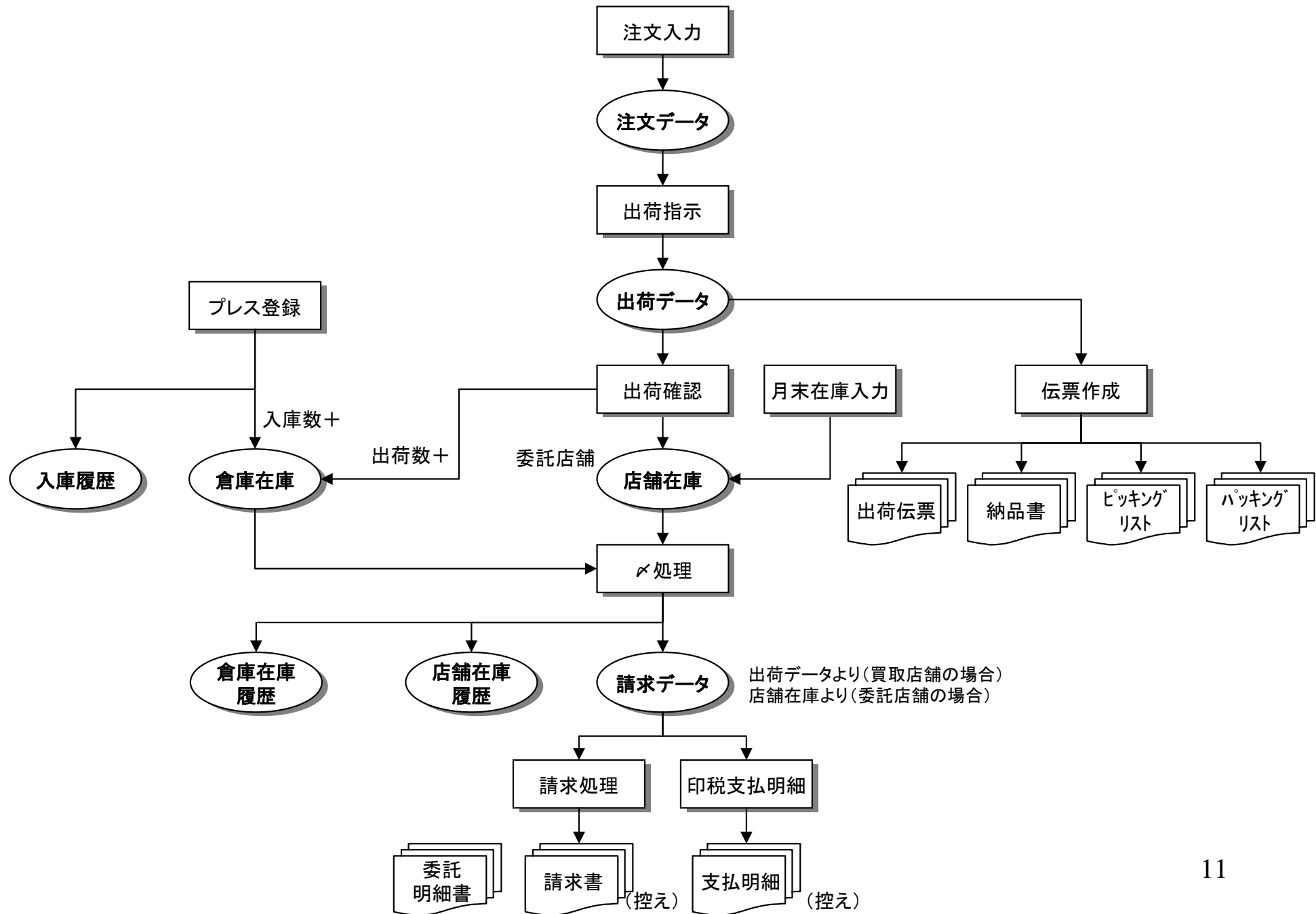


## オンライン通販システム (会員システム)

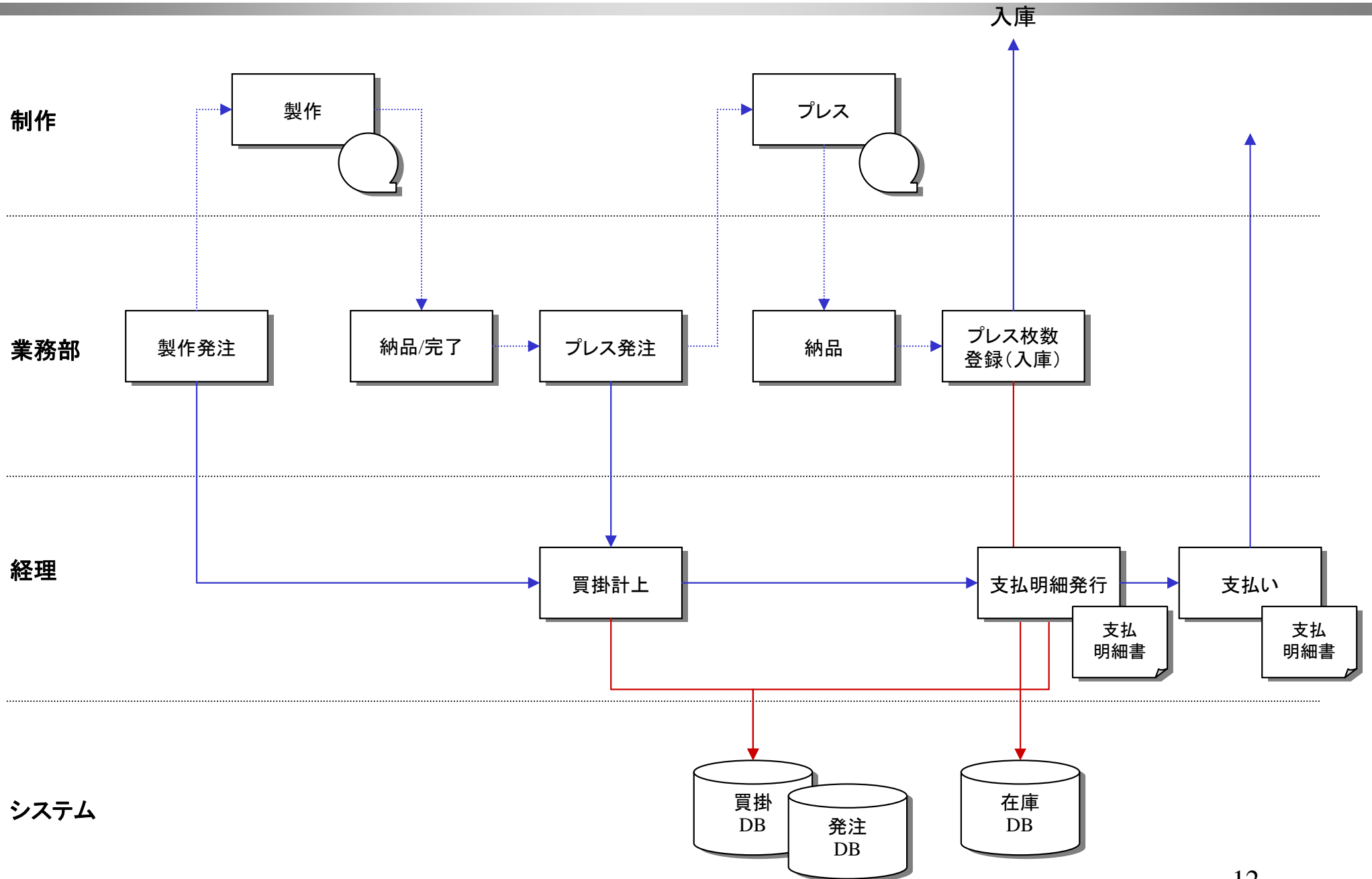


- サイズ: 60K
- WEBベースシステム
- Apache, PHP, PostgreSQL
- パイロットユーザで稼動中

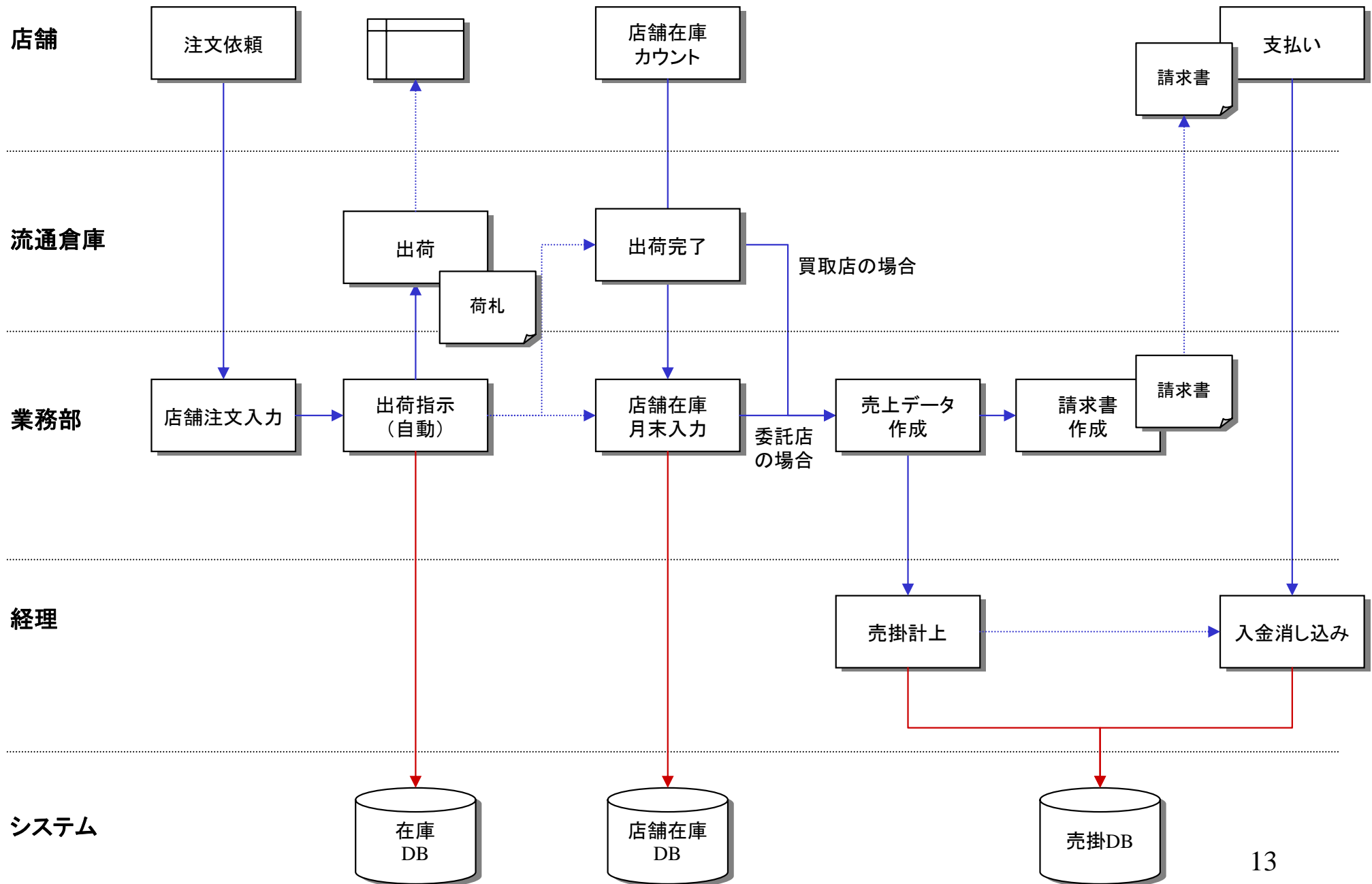
# 事例紹介 ~ プロセスモデル



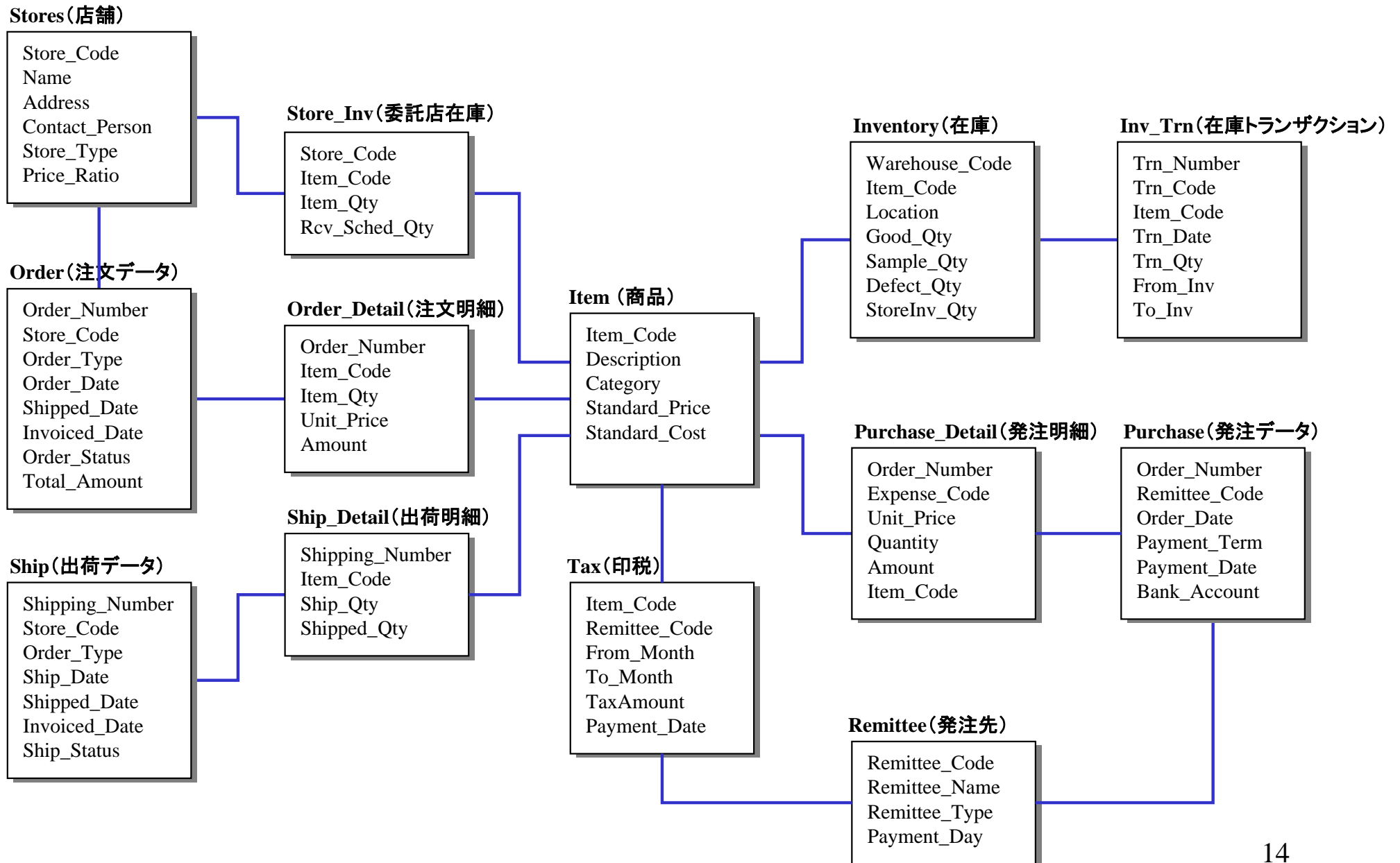
# 事例紹介 ~ワークフローモデル (発注、在庫)



# 事例紹介 ~ワークフローモデル (受注、出荷、請求、入金)



# 事例紹介 ~ データモデル



# 今後の検討テーマ

---

- ◆モデル表記方法の標準化
- ◆実態、適用事例調査
- ◆ビジネス化の動向調査
- ◆コミュニティのあり方
- ◆サポート体制